



実践報告① 特別展「モンコレ！～2016年夏の珍作コレクション～」 笠岡市立カブトガニ博物館 森信 敏

1 展示のねらい

普段口にしていない「ちりめんじゃこ」や「いりこ」が、どのように漁獲され、加工されているかを学び、カタクチイワシが多彩な生き物と共に生息していることを知ってもらう機会とした。また、チリモンやイリモン(いりこの混獲物のこと)は、その生き物が漁獲された海の生物相の縮図となることから、そうした生き物の多様性を通して海の豊かさを実感してもらうことを目的として本特別展を開催した。

2 展示内容

① はじめに

ちりめんじゃこをとる漁法や加工・生産方法、チリメンモンスターとはいったい何者なのかについて、模型や映像資料を使って解説した(図3-3)。



図 3-3

② チリモン・イリモンコレクション

チリメンモンスターを樹脂封入標本にして、産地別に展示を行った(図3-4、3-5)。また、いりこの中に混じるイリコモンスターも樹脂封入標本にして同様に展示をした(図3-6、3-7)。イリコモンスターは、地元の乾物屋から選別後に廃棄されるものをいただくことができたので、それらを使用した。

③ チリメンモンスターのその後

料理になった元モンスター

チリモンやイリモンとして見られる生き物たちが成長した姿や、それらがさまざまな料理となって私たちの食卓にのぼることを知ってもらうために、剥製や写真パネルを使って解説を行った(図3-8)。また、船の科学館から借用した巡回展示物「親子を探せ!」を設置し、チリメンモンスターに見られる生き物とそれが親になった姿を、参加者にゲーム感覚で体感を伴いつつ理解してもらった。



図 3-4



図 3-5



図 3-6 チワラスポの樹脂封入標本



図 3-7 タチウオの樹脂封入標本



図 3-8 料理の解説パネル

3 工夫点

展示では、実物のチリメンモンスターを用いて、どのモンスターが何種類・何個体いるのかをゲーム感覚でさがす「クイズコーナー」を設置した(図3-9、3-10)。

また、展示コーナーには虫めがねを用意しており、顕微鏡と書画カメラを設置した展示コーナーも設け、来館者に細部まで観察してもらえるよう配慮した。加えて、これらの機器を設置した場所には、スケッチができるスペースも確保した(図3-11、3-12)。



図 3-9



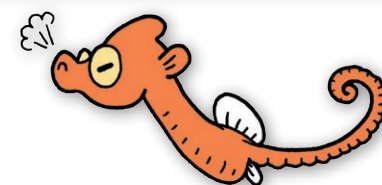
図 3-10



図 3-11



図 3-12



4 展示の評価

日本各地のさまざまな地域で採集されたチリメンモンスターを紹介したことで、海洋生物の多様性やその神秘さ、あるいは海流がもたらす海の恵みについて来館者に学んでもらうことができた。さらに、顕微鏡や書画カメラを設置し、スケッチができるコーナーを設けたことにより、単に見て学ぶだけでなく、体験を伴った、より深い学びを提供できたのではないかと考える。

また、入館した子どもには、モンスターハンドブックを配布した(図3-13)。これにより、海の生き物に対してより親しみを持ってもらうとともに、自宅での自主的な取り組みが期待できる。



図 3-13